



## 平成26年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年10月10日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社ファステップス

コード番号 2338 URL <http://www.fasteps.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役

(氏名) 川嶋 誠

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長

(氏名) 村山 雅経

TEL 03-5360-8998

四半期報告書提出予定日 平成25年10月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年2月期第2四半期の連結業績(平成25年3月1日～平成25年8月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年2月期第2四半期	2,919	△0.0	0	△99.6	11	△80.9	29	21.0
25年2月期第2四半期	2,920	70.5	48	—	58	—	24	—

(注) 包括利益 26年2月期第2四半期 28百万円 (△29.1%) 25年2月期第2四半期 39百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年2月期第2四半期	10.30	—
25年2月期第2四半期	8.51	—

当社は、平成25年3月1日付で普通株式1株につき100株の株式分割を行っております。そのため、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益を算定しております。

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円	%	百万円	%	%
26年2月期第2四半期	3,638	—	1,690	—	30.7
25年2月期	3,208	—	1,664	—	33.9

(参考) 自己資本 26年2月期第2四半期 1,118百万円 25年2月期 1,088百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年2月期	—	0.00	—	0.00	0.00
26年2月期	—	0.00	—	—	—
26年2月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成26年2月期の連結業績予想(平成25年3月1日～平成26年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,600	1.8	80	△43.3	100	△34.7	90	16.4	31.64

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年2月期2Q	2,882,500 株	25年2月期	2,882,500 株
② 期末自己株式数	26年2月期2Q	38,400 株	25年2月期	38,400 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年2月期2Q	2,844,100 株	25年2月期2Q	2,844,100 株

当社は、平成25年3月1日付で普通株式1株につき100株の株式分割を行っております。そのため、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。

また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書 .....	6
四半期連結包括利益計算書 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	9
(5) セグメント情報等 .....	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、欧州諸国での財政問題の長期化や新興国経済の景気減速などの要因から依然先行き不透明な状態ではあるものの、アベノミクス効果による株高の影響もあり景気回復に対する期待感が表れ始めています。

このような状況のもと、当社グループは既存案件の拡大を行なっており、新規案件に対しても幅広い商材から顧客に対してのアプローチを進め、受注に繋がるべく調整をしております。この結果、当第2四半期連結累計期間につきましては、売上高2,919百万円（前年同期比0.0%減）、営業利益0百万円（前年同期比99.6%減）、経常利益11百万円（前年同期比80.9%減）となりました。ただし、法人税等の影響により、最終損益として29百万円の四半期純利益（前年同期比21.0%増）となりました。

事業区分別の売上高は、以下のとおりであります。

#### (システムソリューション事業)

当事業におきましては、スマートフォンアプリケーションのタイトル数が増加したことにより、売上高も増加しております。また、受託案件の売上高もほぼ計画通りに推移しております。その結果、売上高は244百万円（前年同期比17.1%増）、売上構成比は8.3%となりました。

#### (メディアソリューション事業)

当事業におきましては、前連結会計年度でのスポットコマーシャルの大幅な増加が影響し、売上高は減少しておりますが、当第2四半期連結会計期間では新規クライアントの獲得や、既存クライアントの売上拡大により、売上高は計画よりも増加しております。その結果、売上高は2,130百万円（前年同期比14.4%減）、売上構成比は73.0%となりました。

#### (コストマネジメント事業)

当事業におきましては、インターネット通販市場の成長により、貨物輸送量が増加したことにより売上高も計画通りに推移いたしました。その結果、売上高は544百万円（前年同期比142.9%増）、売上構成比は18.7%となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

#### ①資産、負債及び純資産の状況

##### (資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて466百万円増加し、2,822百万円となりました。これは、主に受取手形及び売掛金が346百万円増加したことなどによります。固定資産は、前連結会計年度末に比べ36百万円減少し、815百万円となりました。これは、主に投資その他の資産が32百万円減少したことなどによります。この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて429百万円増加し、3,638百万円となりました。

##### (負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて351百万円増加し、1,541百万円となりました。これは、主に買掛金が234百万円増加したことや短期借入金が130百万円増加したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ52百万円増加し、406百万円となりました。これは、主に長期借入金が50百万円増加したことなどによります。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて25百万円増加し、1,690百万円となりました。これは、利益剰余金が29百万円増加したことなどによります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べて78百万円増加し、740百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間の営業活動の結果、減少した資金は93百万円（前年同期は396百万円の減少）となりました。これは主に売上債権の増加によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間の投資活動の結果、減少した資金は8百万円（前年同期は84百万円の増加）となりました。これは主に定期預金の預入による支出によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間の財務活動の結果、増加した資金は180百万円（前年同期は40百万円の増加）となりました。これは主に短期借入金の増加によるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

業績予想につきましては、平成25年10月1日に公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」のとおりです。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年8月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,611,809	1,728,174
受取手形及び売掛金	379,643	725,731
商品及び製品	—	491
仕掛品	5,180	10,142
繰延税金資産	7,453	157
その他	365,046	374,207
貸倒引当金	△12,682	△16,082
流動資産合計	2,356,451	2,822,822
固定資産		
有形固定資産	4,661	7,197
無形固定資産		
のれん	40,737	34,409
その他	54,898	54,257
無形固定資産合計	95,635	88,666
投資その他の資産		
投資有価証券	133,937	122,403
長期貸付金	353,860	353,298
繰延税金資産	28,111	14,502
営業保証金	150,300	140,300
その他	123,719	96,346
貸倒引当金	△38,011	△7,450
投資その他の資産合計	751,918	719,400
固定資産合計	852,215	815,263
資産合計	3,208,666	3,638,085
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	289,471	523,765
短期借入金	650,000	780,000
未払法人税等	50,312	9,489
その他	200,296	228,149
流動負債合計	1,190,080	1,541,404
固定負債		
長期借入金	—	50,000
退職給付引当金	12,823	13,846
役員退職慰労引当金	290,687	303,150
その他	50,227	39,031
固定負債合計	353,738	406,028
負債合計	1,543,818	1,947,433

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年8月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	983,800	983,800
資本剰余金	774,915	774,915
利益剰余金	△613,940	△584,635
自己株式	△58,994	△58,994
株主資本合計	1,085,780	1,115,086
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,748	3,250
その他の包括利益累計額合計	2,748	3,250
新株予約権	—	262
少数株主持分	576,319	572,053
純資産合計	1,664,848	1,690,652
負債純資産合計	3,208,666	3,638,085

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)
売上高	2,920,493	2,919,715
売上原価	2,561,130	2,592,258
売上総利益	359,362	327,457
販売費及び一般管理費	311,344	327,267
営業利益	48,017	189
営業外収益		
受取利息	15,047	4,441
受取配当金	1,340	4,856
その他	10,654	8,509
営業外収益合計	27,042	17,806
営業外費用		
支払利息	6,762	3,382
為替差損	6,675	—
その他	2,968	3,416
営業外費用合計	16,405	6,799
経常利益	58,654	11,197
特別利益		
投資有価証券売却益	—	6,328
特別利益合計	—	6,328
税金等調整前四半期純利益	58,654	17,525
法人税、住民税及び事業税	23,902	△15,674
法人税等調整額	△3,415	16,008
法人税等合計	20,486	333
少数株主損益調整前四半期純利益	38,168	17,191
少数株主利益又は少数株主損失(△)	13,952	△12,113
四半期純利益	24,215	29,305



四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	38,168	17,191
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,426	10,866
その他の包括利益合計	1,426	10,866
四半期包括利益	39,594	28,058
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	24,700	32,323
少数株主に係る四半期包括利益	14,893	△4,265

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	58,654	17,525
減価償却費	1,744	1,925
のれん償却額	6,294	6,328
為替差損益 (△は益)	6,692	35
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△7,567	△27,161
賞与引当金の増減額 (△は減少)	21,590	24,800
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	636	1,022
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	6,595	1,267
受取利息及び受取配当金	△16,387	△9,297
支払利息	6,762	3,382
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△6,328
売上債権の増減額 (△は増加)	△656,767	△346,088
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△877	△5,452
仕入債務の増減額 (△は減少)	106,309	234,294
その他	78,371	21,635
小計	△387,948	△82,111
利息及び配当金の受取額	4,400	5,132
利息の支払額	△6,745	△3,300
法人税等の支払額	△6,518	△12,967
営業活動によるキャッシュ・フロー	△396,811	△93,246
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△19,516	△98,180
定期預金の払戻による収入	87,110	60,168
有形固定資産の取得による支出	—	△3,325
投資有価証券の取得による支出	△6,000	△60,210
投資有価証券の売却による収入	—	96,658
無形固定資産の取得による支出	△6,000	—
貸付金の回収による収入	29,551	557
その他	△560	△4,033
投資活動によるキャッシュ・フロー	84,584	△8,366
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	40,500	130,000
長期借入れによる収入	—	50,000
財務活動によるキャッシュ・フロー	40,500	180,000
現金及び現金同等物に係る換算差額	6	△35
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△271,720	78,351
現金及び現金同等物の期首残高	344,816	662,580
現金及び現金同等物の四半期末残高	73,095	740,932

## (4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (5) セグメント情報等

## 【セグメント情報】

## I 前第2四半期連結累計期間(自平成24年3月1日至平成24年8月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注2)
	システム ソリューション 事業	メディア ソリューション 事業	コスト マネジメント 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	208,924	2,487,244	224,324	2,920,493	—	2,920,493
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	208,924	2,487,244	224,324	2,920,493	—	2,920,493
セグメント利益	32,957	34,301	19,791	87,050	△39,032	48,017

(注) 1. セグメント利益の調整額△39,032千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第2四半期連結累計期間(自平成25年3月1日至平成25年8月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注2)
	システム ソリューション 事業	メディア ソリューション 事業	コスト マネジメント 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	244,622	2,130,190	544,902	2,919,715	—	2,919,715
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	244,622	2,130,190	544,902	2,919,715	—	2,919,715
セグメント利益又は損 失(△)	66,998	△37,646	26,308	55,661	△55,471	189

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失の調整額△55,471千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。